

皆さん、おはようございます。

長い夏休みが終わり、今日から2学期が始まります。

今年の夏も大変厳しい暑さが続きました。8月も終わりに近づき、暦の上では秋へと向かっていますが、まだまだ暑い日が続いています。夏休みの間、皆さんはどのように過ごしたのでしょうか。

部活動に励んだ人、家族や友達との時間を大切にしたり、旅行やさまざまな体験をした人、そして、夏休みの課題や受験勉強に一生懸命取り組んだ人もいたことでしょう。

今日、皆さんの元気な姿を見ることができたことを、私は大変うれしく思います。

さて、今日から2学期が始まります。

2学期は、体育大会や文化祭、合唱コンクールなど仲間と協力して取り組む機会が多い学期です。

今日は、皆さんに「命を守ること」と「人と人とのつながり」について話をしたいと思います。

皆さんは、今年の7月に熊本県で大きな地震が発生したことを知っているでしょうか。

7月28日、熊本地方を震源とする大きな地震が発生し、熊本県では最大震度7を観測しました。

そして、今年はもう一つ、熊本について考える大きな節目の年でもあります。

2016年、平成28年4月に発生した熊本地震から、今年で10年になります。

10年前の熊本地震では、多くの建物が被害を受け、多くの方が避難生活を余儀なくされました。

そして今年、熊本では再び大きな地震が発生しました。

この二つの出来事を通して、私たちは何を考えればよいのでしょうか。

私は、まず、「普段の当たり前の生活は、決して当たり前ではない」ということを考えてほしいと思います。

朝、目を覚ます。学校へ来る。友達と話す。授業を受ける。部活動をする。家に帰る。

私たちにとっては、ごく普通の毎日です。しかし、大きな災害が起きれば、その日常が一瞬にして変わることがあります。家に帰れなくなることもあります。学校が使えなくなることもあります。普段は何とも思わない「普通の日」が、実はとても大切なものなのです。

だからこそ、今、皆さんが学校で学び、友達と過ごし、家族と生活できていることを大切にしてほしいと思います。そして、災害から学ぶもう一つの大切なことがあります。

それが、「人は一人では生きていけない」ということです。大きな災害が起きたとき、自分自身も不安でいっぱいになります。

それでも、地域の人が声を掛け合ったり、食べ物や水を分け合ったり、困っている人を助けたりする姿が見られます。自分も大変な状況にありながら、誰かのために行動する。

そこには、人と人とのつながりがあります。

これは、災害のときだけ必要なことではありません。皆さんの学校生活でも同じです。

例えば、クラスに元気のない友達がいたら、どうするでしょうか。「大丈夫？」と声を掛けることができます。勉強が分からず困っている友達がいたら、一緒に考えることができます。部活動で失敗して落ち込んでいる友達がいたら、「次があるよ」と励ますことができます。どれも特別なことではありません。

しかし、こうした小さな行動が、人と人とのつながりをつくれます。そして、そのつながりが、いざというときに大きな力になります。皆さんには、2学期の学校生活の中で、ぜひ周りの人に目を向けてほしいと思います。

体育大会や文化祭などでは、仲間と協力する場面がたくさんあります。競技に出る人。応援する人。係の仕事をする人。準備、片付けをする人。それぞれの役割があります。目立つ仕事だけが大切なわけではありません。人には、それぞれ得意なことがあります。

だからこそ、「自分にできることを見つけ、それを誰かのために生かす」ことを大切にしてください。

「自分だけが頑張ればいい」のではなく、「みんなにとってよい学校にするために、自分には何ができるだろう」と考えてみてください。そして、もう一つ覚えておいてほしいことがあります。それは、「困ったときには、人に助けを求めてよい」ということです。

中学生になると、「自分のことは自分で何とかしなければ」と考えることも多くなります。

もちろん、自分で考え、自分で行動することは大切です。しかし、何でも一人で抱え込む必要はありません。勉強のこと。友達のこと。部活動のこと。進路のこと。将来のこと。

悩みや不安があるときには、先生や家族、友達など、誰かに相談してください。「助けてください」と言うことは、弱いことではありません。自分の命や心を守るための大切な力です。このつながりを、学校生活の中でも大切にしてほしいと思います。

さて、2学期は、皆さん一人一人にとって大切な学期です。3年生にとっては、進路について具体的に考える時期になります。不安を感じることもあるでしょう。しかし、焦る必要はありません。今の自分にできることを、一つずつ積み重ねてください。

1, 2年生にとっては、これから学校の中心となる役割を少しずつ引き継いでいく時期です。

先輩たちから受け継いだものを大切にしながら、自分たちらしい学校をつくっていきましょう。そして、全員に一つお願いがあります。

それは、「昨日の自分より、今日の自分を少しだけ成長させる」ことです。昨日より元気に挨拶する。昨日より授業に集中する。昨日より人の話をよく聞く。そんな小さな一歩で構いません。

人と比べる必要はありません。比べる相手は、昨日の自分です。小さな一歩を積み重ね

ていけば、やがて大きな成長になります。

最後に、今年の熊本についても一度考えてみましょう。2016年の熊本地震から10年。

そして、2026年には、熊本で再び大きな地震が発生しました。災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。だからこそ、普段から備えることが大切です。こうしたことが、自分の命を守ることにつながります。そして、防災は特別なことだけではありません。

普段から挨拶をする。「ありがとう」と伝える。人の話を聞く。困っている人に声を掛ける。相手の立場を考える。

こうした日常の積み重ねも、人と人とのつながりをつくる大切な行動です。もし大きな災害が起きたとき、「この人がいるから大丈夫」「一緒に頑張ろう」と思える関係があれば、それは大きな力になります。だからこそ、今日から始めてください。

隣にいる人に「おはよう」と言う。誰かに「ありがとう」と伝える。困っている人に「大丈夫？」と声を掛ける。そして、自分が困ったときには、勇気を出して「助けてください」と伝える。

こうした一つ一つの行動が、皆さんの学校をよりよいものにしていきます。2026年は、熊本地震から10年という節目の年です。過去の災害を忘れず、そこから学ぶ。そして、今年起きた出来事からも学び、これからの生活に生かしていく。それが、私たちにできる大切なことだと思います。

命があること。友達がいること。学校で学べること。今日という一日を過ごせること。その一つ一つを大切にしてください。そして、自分だけではなく、周りの人の命や心も大切にできる人になってください。

2学期、皆さん一人一人が、自分の力を伸ばし、仲間と支え合い、互いのよさを認め合いながら成長していくことを期待しています。まだまだ暑い日が続きます。睡眠や食事を大切にし、体調管理にも十分気を付けてください。

今日から始まる2学期を、皆さんにとって挑戦と成長に満ちた、実りある学期にしましょう。「当たり前の日常を大切にすること」「困ったときには支え合うこと」

「自分にできることを考えて行動すること」この三つを心に留めて、一日一日を大切に過ごしてください。

皆さんの2学期が、仲間とのつながりを深め、一人一人が大きく成長する学期となることを願い、2学期始業式の式辞とします。

令和8年9月1日

豊川市立西部中学校
校長 白井貴也